



青森河川国道ニュース

ご意見は
こちらまで



12月8日、一般国道7号高田高架橋(弘前市豊田)において、当事務所及び五所川原市役所の道路担当職員ら約10名が参加し、橋梁補修の新技术工法である「スーパーホゼン式工法」による床版修繕試験施工の現場見学会を実施しました。

見学会では同橋で現在作業中である特殊アンカーによる鉄筋組立て後の確認や、工事担当者より、本工法が『**車両の通行制限をせず、床版の振動・衝撃を緩和して、床版コンクリート下面の増厚ができる長寿命化対策であること**』の特長等について説明を受け、道路インフラ長寿命化に向けて、技術的知見を養う時間となりました。
※床版とは、橋において車両等が通行するための鉄筋コンクリート版などをいいます。

道路インフラ
の長寿命化へ

新技術工法を学ぶ。



特殊アンカーによる鉄筋組立て後の確認の様子



▲ 現場説明を熱心に聞き入る参加者の様子 ▲



▲ 日本建設保全協会による本工法の説明の様子 ▲

国道7号高田高架橋(弘前市豊田)で 橋梁床版修繕の新技术工法を見学